

平成19年1月

中塚隆介 学位論文審査要旨

主 査 林 眞 一
副主査 汐 田 剛 史
同 佐 藤 建 三

主論文

Transient expression of bone morphogenic protein-2 in acute liver injury by carbon tetrachloride

(四塩化炭素による急性肝障害における骨形成因子-2の一過性発現)

(著者：中塚隆介、谷口真、平田みつひ、汐田剛史、佐藤建三)

平成19年 The Journal of Biochemistry 掲載予定

審 査 結 果 の 要 旨

本研究は急性肝障害の再生修復機構を明らかにする目的で、四塩化炭素による急性障害肝モデルラットにおいて骨形成因子-2 (BMP-2) の関与について検討したものである。その結果、初期胚で発現するBMP-2が四塩化炭素肝障害における損傷治癒のプロセスにおいても一過性に発現し、肝臓幹細胞様のoval細胞がこのプロセスに関わっていることを明らかにした。本論文の内容は、発生初期において肝臓の形成に関わるサイトカインが未分化細胞の分化、増殖を伴う成体の損傷治癒においても重要な役割を果たす可能性を示唆するものであり、再生医療の基礎的な研究分野において、明らかに学術水準を高めたものと認める。